

令和6年度 高島市議会議会報告会 まとめ

1. 日 時 令和6年7月12日（金）午前10時45分～午後0時40分
2. 場 所 滋賀県立高島高等学校
3. 参加者 2年生文理探究クラス・Bクラス生徒73名、議員17名
4. テーマ こんなまちになってほしい！そのためにやってみたいこと、できることについて

各グループから報告いただいたまとめを整理し、高校生からの提案を列挙しました。

○高島がどんなまちになってほしいか

- ・住み続けられる地域
- ・健康でいられる地域
- ・若い人が集まる地域
- ・子供が増える地域

○そのためにできること、したいこと

- ・地域で交流するなどのボランティア活動
- ・様々な年齢層を集めるイベントやお祭り、自然を活かしたイベント
- ・高島の魅力を発信する
- ・ウーバーイーツや飲食店を充実し、若者も住みやすいまちにしたい
- ・雪景色など冬を含めた四季の魅力や高島の原風景を観光に活かす
- ・自然を守り続ける
- ・USJやTDLのようなテーマパークをつくりたい
- ・ネスタリゾートのような山を使ったテーマパーク
- ・星空がきれいなので星座のツアー
- ・きれいな公園、自然を活かし琵琶湖の周りもきれいにしてcaféや観光に活かす
- ・空き家をリノベーションしておしゃれなオフィス等にする

○進めてほしいこと、してほしいこと

- ・駅前や通学路などについて、道路の整備や安全対策が必要
- ・駅の改修も必要
- ・こども議会など、市長や議長に提案できる場をつくってほしい
- ・学校教育や学校施設の改善が必要
- ・以前は図書館で自習することができたが今はできない。自習する場所として図書館が利用できるようにしてほしい。
- ・若者世代の市外への流出を防ぐためにも、子育て支援策以外にも取り組むべき。働く場所として1次産業は考えにくく、3次産業がほとんどだと思う。そのためにも、医療関係や理美容関係ならばそれらの

専門学校等が近くにあれば、就職先として市内を考えられるのでは。

- ・市の子育て支援策が他市町と比較して非常に充実していることは素晴らしいと考えている。しかしこれらの情報は、子を持つ大人世代には知られているが、私たちの世代には知られていない情報である。若者世代の流出を防ぐためには、将来も高島市で生活することのメリットとして判断材料となる情報を、高校生以下の世代にもっと伝えておくべき。
- ・湖西線の本数を増やしてほしい。
- ・高島市内で完結する電車をつくってほしい。
- ・バスの利便性を上げてほしい。
- ・湖西線とバスの乗り継ぎで、待ち時間が少なくなるようにダイヤを見直してほしい。
- ・通学路の道を整備してほしい
- ・飲食店をもっと増やしてほしい。
- ・人口減少に歯止めをかけるため、高島市をもっとアピールしてほしい。
- ・安曇川中学校の治安が荒れていて、学級崩壊しているクラスがあるため、教育環境を改善してほしい。
- ・いちご農園問題を早期解決してほしい。

◎総括

今年度も、昨年度に引き続き、滋賀県立高島高等学校の生徒さんを対象とした議会報告会を開催しました。

「高島市の未来」について高校生の皆さんの素直な気持ちや意見をお聞かせいただき、現状や課題を認識した上で、高島市の将来像を思い描きながら、そのために自分たちができることしたいこと、市や議会に進めてほしいことなどのご意見を述べていただき、活発な意見交換となりました。

高校生の皆さんが持つておられる率直な思いに触れ、生の声を聞かせていただくことができ、限られた時間ではありましたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、若者の政治離れが叫ばれる中、政治や市議会活動に関心を持っていただけるきっかけにはなったのではないかと考えています。

これからの日本の将来を担っていただく若い世代の皆さんの考えや意見を参考に、今後の市議会活動に取り組んでまいります。